（様式第１号の１）通常許可

記載例

（　　）　捨印　字　削除
（　　）　　　字　加入

農地法第３条の規定による許可申請書

令和　　年　　月　　日

藤崎町農業委員会　会　長　　安原　義太郎　　殿

申請者	住　所	職業	氏　名	年齢	備考
譲渡人	○○○郡（○○市）○○町大字○○字○○番地○	職業名	藤崎　太郎　実印 ㊞	○○	
譲受人	○○○郡（○○市）○○町大字○○字○○番地○	職業名	藤崎　小太郎　認印 ㊞	○○	

下記農地(採草放牧地)の（に）（　所有権　）を（　移転　）したいので、農地法第３条第１項に規定する許可を申請します。

（注）不要の文字は抹消し、空欄には所要の権利及び設定、移転の別を記入すること。
申請者の氏名(法人の場合にあってはその代表者の氏名)を自署する場合においては、押印を省略することができます。

所有者と同じ指名を記入してください。

1　許可を受けようとする土地の所在等

（市町村名）藤崎町			地目		面積(㎡)	所有者 氏　名 （名　称）	利用者	
大字	字	地番	台帳	現況			氏名（名称）	利用権原
○○	○○	○○	田	田	1,000	藤崎　太郎	藤崎　太郎	所有権
○○	○○	○○	畑	畑	2,000	藤崎　太郎	藤崎　太郎	所有権
○○	○○	○○	畑	樹園地	3,000	藤崎　太郎	藤崎　太郎	所有権
計	3　筆				6,000	①		

無償の場合は贈与と記入してください

2　契約の内容

権利を移転又は設定しようとする時期	対価　（円）	賃借料　（円）	契約期間	備考
許　可　日	○○○○○○円		永久年	

3　譲受人又はその世帯員等が、現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の状況

	所有地					使用収益権を有する土地			
	自作地　(㎡)	貸付地　(㎡)	非耕作地			自作地　(㎡)	非耕作地		
			所在・地番	面積　(㎡)	状況・理由		所在・地番	面積　(㎡)	状況・理由
田	2,000					1,000			
畑	3,000					4,000			
樹園地	4,000					2,000			
農地計	9,000	②				7,000	③		
採草放牧地									

この表の面積は、譲受人の耕作証明書に記載されている面積を記入してください。

4　譲受人又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況

(1)　権利取得後において耕作の事業に供する農地の面積の合計
（権利を有する農地の面積＋権利を取得しようとする農地の面積）　＝　22,000 ㎡

①と②と③の合計面積を記入してください。

(2)　権利取得後において耕作又は養畜の事業に供する採草放牧地の面積の合計
（権利を有する採草放牧地の面積＋権利を取得しようとする採草放牧地の面積）　＝　　㎡

（　　）　捨印　字　削除
（　　）　　　字　加入

5　譲受人及びその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事

田、畑、樹園地の作物ごとの作付面積を記入してください。
その合計面積が、項目４の（１）の面積と同じになること。

(1)　作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑				樹園地			採草放牧地
作付(予定)作物	水稲	野菜	にんにく			りんご	桃		
権利取得後の面積(㎡)	4,000	3,000	6,000			7,000	2,000		

(2)　大農機具又は家畜

		農機具					家畜			
確保しているもの	種類	トラクター	田植機	コンバイン	ｽﾋﾟｰﾄﾞｽﾌﾟﾚｰﾔ	農用自動車				
	数量	1	1	1	1	3				
導入予定のもの	種類	トラクター	田植機	コンバイン	ｽﾋﾟｰﾄﾞｽﾌﾟﾚｰﾔ	農用自動車				
	数量	1	1	1	1	1				

必要に応じて、所有もしくは導入予定の農機具の種類と台数を記入してください。

(3)　労働力の状況等

	氏名	年齢	性別	権利取得者との関係	職業	農作業従事日数	備考（農作業歴・農業技術修学歴等）
世帯員等	藤崎　小太郎	○○	男	本人	農業	250	
	藤崎　花子	○○	女	妻	農業	200	
	藤崎　藤男	○○	男	子	○○	60	
	藤崎　藤子	○○	女	子の妻	○○	60	
常雇							
季節雇・臨時雇	年間延日数　　男　　日、　　女　　日						

年間の従事日数を記入してください。
例：250日、200日、180日、120日、60日

6　周辺農地との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載すること。(例えば、集落営農や担い手への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載すること。)

作業効率の妨げになることや、耕作するうえで問題が生じない場合は、その旨記載してください。

指令　第　　号

農地法第３条第１項の規定により上記申請のとおり許可します。

令和　　年　　月　　日

藤崎町農業委員会　会　長　　安原　義太郎